

農業振興普及課

水稻新品種「なつほのか」早期米で一般栽培開始!!

新品種「なつほのか」は、夏の暑さによる品質低下を招くことが少なく、米粒が大きいという特徴があります。平成29年度には、11月末のJAまつりで試食ブースを設け、『おいしい』という評価を頂きました。五島地域では、平成30年度から、早期「なつほのか」の一般栽培が開始され、約6ha作付けされています。「なつほのか」は移植適期の幅が広いいため、今後、早期米に加えて、普通期米への導入も検討しています。



[五島地域での栽培] 早期「なつほのか」(H29栽培試験結果)

- ① 4月中旬に移植、8月下旬に収穫
- ② 倒伏は、「コシヒカリ」より強い
- ③ 収量は、「コシヒカリ」より多い
- ④ 品質は、1等

林務課

まずは危険箇所を知ろう!

あなたの町の山地災害のおそれのある地区がどこにあるのかを知っておくことは、日頃から災害に備えるために大切です。そこで、全国の都道府県や森林管理局では山地災害のおそれのある地区を調査し、長崎県では「山地災害危険地区」として五島振興局管内で481(県全体で3068)箇所を指定しています。身近に危険な箇所がないかどうか、あらかじめ防災マップなどで確認しておきましょう。

防災マップは「<http://www.pref.nagasaki.jp/sb/gis/agree.php>」から確認できます。

平成30年4月現在

区分	山地崩壊				地すべり				崩壊土砂流出				合計
	A	B	C	計	A	B	C	計	A	B	C	計	
五島	136	57	44	237	0	5	0	5	107	89	43	239	481
県全体	1017	363	262	1642	133	28	20	181	545	489	211	1245	3068

※注：表中のA-Cは危険度に応じたランク分けで、Aが最も危険度が高い。

イラスト：林野庁HPより



- ときどき落石がある
- 過去に山くずれがあった
- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩石がもろく、くずれやすい地質である
- 急斜面で、軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい斜面地形である

【山くずれ】

雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面が突然くずれ落ちる現象です。



- 過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている
- 山の斜面に亀裂や段差がみられる
- わき水や地下水が豊富である
- 断層や、もろく、くずれやすい岩石がある
- 火山や温泉の影響で粘土化した土がある

【地すべり】

地下水などの影響により、粘土質の土をすべり面として山の斜面がゆっくり移動する現象です。



- 過去に土石流があった
- 溪流が急で大きな石やたくさんの土砂がある
- 上流が山くずれなどで荒れている

【土石流】

山の斜面から崩れた土砂や谷の土砂・石などが、大雨などによって水といっしょに一気に下流に押し流される現象です。